

親子関係の断絶防げ

党PT 共同親権導入へ意見交換 初会合



公明党の共同親権制
度導入検討プロジェクト
チーム(大口善徳座
長＝衆院議員)は9日、

衆院第2議員会館で初
会合を開き、「親子の
交流断絶防止法制定を
求める全国連絡会」の
鈴木裕子代表らと意見
を交わした。

絶対が子どもに与える悪
影響や、国際離婚では
「連れ去り」を懸念し
て、日本人に親権が認

められにくい現状を強
調し、①「連れ去り」
の原則禁止②親子が隔
週1回は泊まりで会う
ことを保証③離婚時な
どに子どもの養育につ
いて取り決めること―
などを盛り込んだ法
整備を求めた。

大口部会長は、「し
っかりと対応してい
く」と応じた。

双方の親権共有が認め
られない現状の問題点
について「親権を確保
するため、片親が子ど
もの身柄を確保する
『連れ去り』『引き離
し』が横行している。
『連れ去り』を行った
親は、行為を正当化す
るために虚偽でも相手
を配偶者暴力(DV)
で訴える場合がある」
と説明した。

また、親子関係の断

共同親権制度の導入をめ
ざし意見を交わした党P
Tの初会合＝9日 衆院
第2議員会館